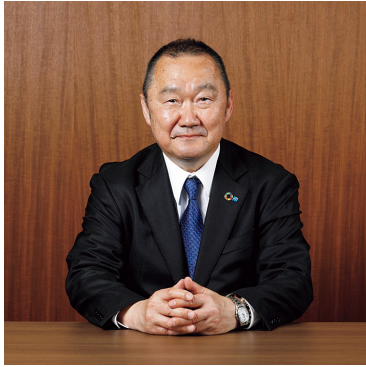




ごあいさつ

理事長 杉山 元

平素より、私ども北海道労働金庫に対して、格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、日本および北海道の経済は、緩やかな回復基調との全体感が示されている一方で、不安定な世界情勢や物価高騰、金利のある世界の定着などにより、先行きが見通しづらい環境といえます。

このような環境下で遂行してきた2024年度は、長期ビジョン(～2024年度)・中期経営計画(2022～2024年度)の最終年度として、「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」の実現に向け、「共生社会の実現と健全経営の維持」をコアバリューに捉えた取組みを展開しました。その結果、会員・推進機構と一体となった運動展開や預金・貸出金等の計数実績において計画水準を超過する成果を上げることができました。

さて、2025年度から新たな経営計画である「長期ビジョン(～2035年度)」・「中期経営計画(2025～2029年度)」がスタートしました。これらの新経営計画では、前回長期ビジョンのキーワードであった4つの環(会員・地域・利用者・ろうきん内)を踏襲するといった考えのもとに、長期ビジョンにはろうきん理念に記載の「ろうきんは働く人の福祉金融機関」や「共生社会の実現に寄与する」との想いを込め、「未来の共生社会をきずく、はたらく人のベストバンク」を掲げました。共に運動を進めていただいております会員・推進機構の皆様と想いを共有しながら、各種取組みを進めてまいります。

なお、国連は2025年を2012年に続く2回目の国際協同組合年に定めました。国連決議(2023年12月)では、協同組合に対する理解を高めるため、すべての加盟国・国連・その他すべての関係者が国際協同組合年を活用することを促すとともに、協同組合の持続可能な取組みやすべての人が参加できる社会づくり(金融包摂・社会的包摂)への貢献に対する支援を求めています。

当金庫もこれらの動きに連動し、持続可能な地域のより良い暮らしや様々な課題解決に向けた取組みに、金融面から積極的に参画していく所存です。

結びとなりますが、当金庫の経営方針や事業の状況をご案内するため、ここに「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2025」を作成いたしました。多くの皆様にご覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

2025年7月

C O N T E N T S

ごあいさつ	1
ろうきんの理念	
ろうきんの理念と基本姿勢	2
北海道ろうきんの概要	
2024年度トピックス	4
2024年度業績ハイライト	6
長期ビジョン(～2035年度)・中期経営計画 (2025～2029年度)の概要	8
つなぐプロジェクト for SDGs	9
2025年度事業計画	10
2025年度事業計画における リスクアペタイト	11
社会的責任と貢献活動	12
北海道ろうきんの健全性・安全性	21
リスク管理体制	22
コンプライアンス態勢	25
マネー・ローダリングおよび テロ資金供与対策	27
お客様本位の業務運営に関する 取組方針・取組状況	28
業務の適正を確保するための体制・運用 状況(内部統制システム)	30
営業のご案内	
預金商品・資産運用商品のご案内	32
融資商品等のご案内	34
各種サービス・業務のご案内	36
主な手数料一覧	38
プロフィール	
北海道ろうきんの組織	40
あゆみ	41
ネットワーク	
北海道ろうきん店舗・自動機一覧	42
財務データ	
財務諸表	44
資産内容の開示	50
経営指標	52
預金に関する指標	53
貸出金等に関する指標	54
有価証券に関する指標	55
その他業務	56
出資金・ 常勤役員一人当たり一店舗当たり預金・貸出金	57
連結情報	58
自己資本の充実の状況	64
索引	
開示項目一覧	82